

I. ウェビナー記録

1. プログラム

日本・キルギスビジネスウェビナー 「日本とキルギス共和国との投資協力における展望と可能性」

- ◆ 日 時： 2021年2月17日（水）15:00～16:30（キルギス時間 12:00-13:30）
- ◆ 主 催： （一社）ロシアNIS貿易会、キルギス共和国投資保護・促進庁
- ◆ 協 力： 経済産業省、在日キルギス共和国大使館
- ◆ 言 語： 日露同時通訳
- ◆ 会議システム： Zoom

日本時間 (キルギス時間)	プログラム
15:00-15:05 (12:00-12:05)	◆開会・議事説明 輪島 実樹 （一社）ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所 部長
15:05-15:10 (12:05-12:10)	◆日本側来賓挨拶 前田 茂樹 駐キルギス共和国日本国特命全権大使
15:10-15:15 (12:10-12:15)	◆キルギス側来賓挨拶 ミルラン・アルスタンバエフ 駐日キルギス特命全権大使
15:15-15:25 (12:15-12:25)	◆キルギス共和国投資保護・促進庁報告およびビデオプレゼンテーション トルクナイ・タアライベコヴァ 投資誘致・支援部長
15:25-15:37 (12:25-12:37)	◆キルギス共和国農業・食品産業・土地改良省代表による報告「キルギス共和国の農業分野における投資協力のポテンシャル」 リラ・カスィムベコヴァ 国際協力局 局長
15:37-15:47 (12:37-12:47)	◆キルギス共和国文化・情報・観光省代表による報告「キルギス共和国の観光分野における投資魅力」 クィヤル・ケンジェマトヴァ 観光局 次席
15:47-15:55 (12:47-12:55)	◆キルギス共和国政府付属国家移民局代表による報告「キルギス共和国の人材ポテンシャルとその活用可能性」 アルマズ・アルィバエフ 同局情報コンサルティングセンター 次席
15:55-16:00 (12:55-13:00)	◆CAVEX 参加企業による報告①「Tomat KG 社産エコ食品の紹介」 トレウジャン・カリモフ 農業事業体「Tomat KG」 開発部長
16:00-16:05 (13:00-13:05)	◆CAVEX 参加企業による報告②「オーガニックで皆を一つに」 トゥルスナリ・トロムショフ 農業協同組合「Alysh-Dan Organic」 会長
16:05-16:10 (13:05-13:10)	◆CAVEX 参加企業による報告③ 「ポストコロナ時代の国民に向けた健康食品としての直搾りジュース」 アイガヌィシ・ウメタリエヴァ 有限責任会社「Ecoproduct Asia」 クリエイティブマネージャー
16:10-16:15 (13:10-13:15)	◆CAVEX 参加企業による報告④「自然と調和する CHAPANSAR」 サイカル・バカソヴァ 「CHAPANSAR」縫製スタジオ マネージャー
16:15-16:20 (13:015-13:20)	◆CAVEX 参加企業による報告⑤「健康のための工場」 ダリカ・ババエヴァ 有限責任会社「Aroniya Farm」 マーケティング部 部長
16:20-16:30 (13:20-13:30)	◆日本側コメント 壽 郁恵 国際連合工業開発機関（UNIDO）東京事務所 工業開発官 寺岡 慎祐 （株）沖縄リレーションシップ 営業部 係長
16:30（13:30）	◆閉会

2. 報告・コメント

(1)キルギス共和国投資保護・促進庁 報告タイトル「キルギス共和国における投資機会」

※本報告は事前録画によるビデオプレゼンテーションにて行われた。

キルギス共和国は中央アジア中心部に位置する内陸国である。首都はビシケク市、人口は620万人強である。

キルギスの主要産業は、農業、水力発電、観光、繊維加工であり、いずれもさらなる発展のポテンシャルを有する。キルギス経済の発展にとり、投資は重要にして必須のファクターである。したがって、キルギスの投資法制は他の中央アジア諸国のそれに劣後しない極めてリベラルなものとなっている。我が国の投資法制は、外国人投資家の広汎な権利と保護を規定している。輸出保証、投資・資産の本国送還の保証、投資収用あるいは投資家が被った損失補填の保証、所得の利用や金融取引の自由の保証などが規定事項に当たる。

キルギス共和国では、良好なビジネス環境およびその透明性が確保されている。キルギス独立から今に至るまで、起業促進と良好なビジネス環境創出のために数多くの改革が実施された。開かれた市場を有する市場経済への道が選択されるや否や、市場の主要プレーヤーであるビジネス関係者らは急速にそれに順応し、経済発展の主要原動力となった。キルギス国内滞在の目的がビジネス活動あるいは入札案件への参加の場合、外国人投資家には、自由な出入国と国内移動の権利を付与する投資ビザが発行・交付される。

キルギスの労働市場の重要な特徴の一つは、高い出生率に支えられ、急速に増加する労働人口である。労働市場に供給される労働力人口の51%が若者である。キルギスは中央アジア地域でも労働力が最も低廉な国の一つである。電力コストは、1 kWh時当たり0.009ドルであり中央アジアで最低水準だ。生活費は1カ月68ドルである。

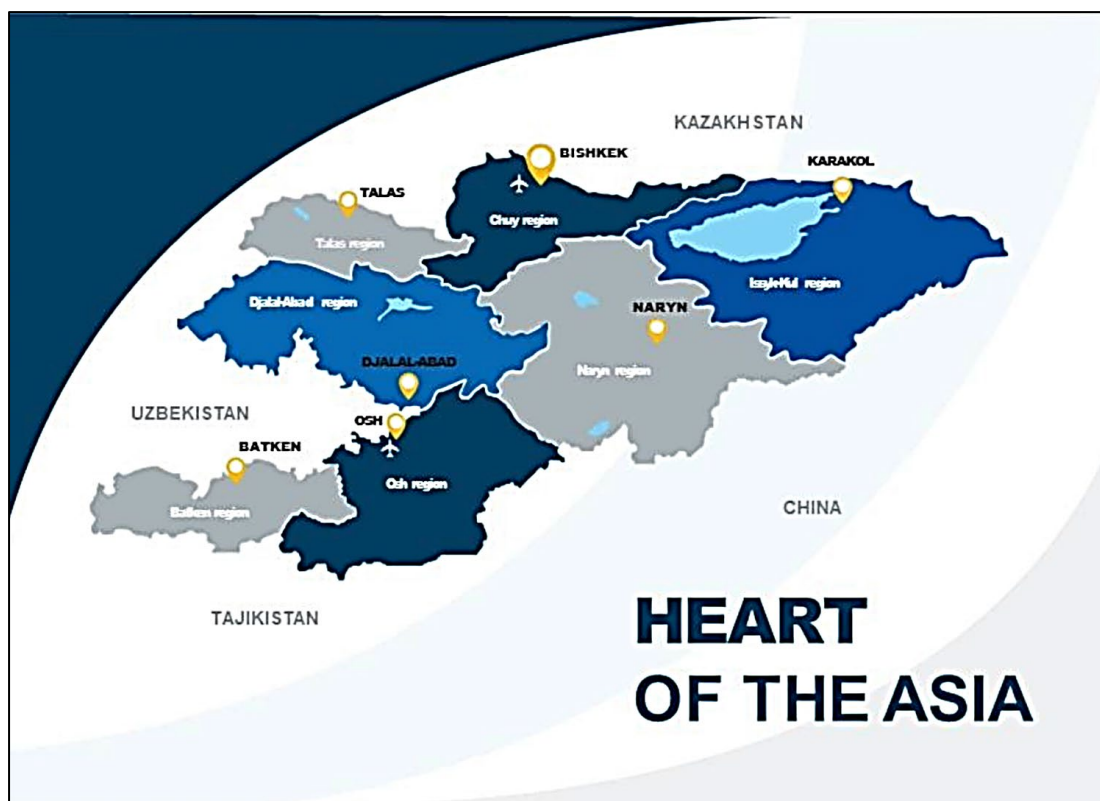
キルギスは多くの主要な貨物輸送ルートが国土を通過する域内有数の戦略的トランジット国である。現在、急ピッチで開発が進むキルギスの鉄道網や航空路は、欧州・CIS諸国・アジアを結ぶ中継地として重要な役割を果たしている。

キルギスが加盟するユーラシア経済連合（EEU）では、5カ国1億8,400万人以上の市場へ関税0%でアクセスできる。またGSP+により、28カ国5億人以上の市場に関税0%で3,500品目のアクセスが可能である。言うなれば、投資家はこれらの制度を活用することで、10億人以上を擁する巨大市場への進出が可能となる。

ハイテクパークは、ソフトウェア、コンピュータサイエンス、IT教育・サービスの開発・輸出支援を目指した国内全土をカバーする租税特区である。

電子システムサービス「Tunduk」は電子政府推進の一環として導入された情報システムであり、国家機関や地方自治体、法人が市民や組織に電子形態でサービスを提供するために必要なデータのやりとりを可能にしている。長年、官僚主義的手続きにより生じる国家機関内業務の非効率性と汚職の蔓延が問題となっていたが、「Tunduk」を導入することで、信頼に足るデータ受領の自動化・確実化、そして公共サービスの質的向上を早急に実現させ、国民や企業家が被る損失を最小化することが重要だと考える。

キルギスは、2020年のDoing Businessでは80位、経済自由度指数では81位にそれぞれランクインし、米格付け会社ムーディーズの信用格付けではB2となっている。また今日キルギス共和国は20カ国以上と投資の保護・促進に関わる二国間協定を締結している。これらの投資協定は、国際レベルでは外国人投資家に最恵国待遇を与え、国内では事業環境を創出・整備する。さらに、外国人投資家のための投資保護基準を強化し、収入や支払いの送金などの基本的権利と自由、収用に対する賠償支払いなどを保証する。同様に、代位弁済の原則や紛争調停に係る規定も設けられている。投資保護・促進庁は、投資家に対し「One Stop Shop」原則の枠内で、投資家に対するアフターケア、輸出振興、投資プロモーションなどを実施している。

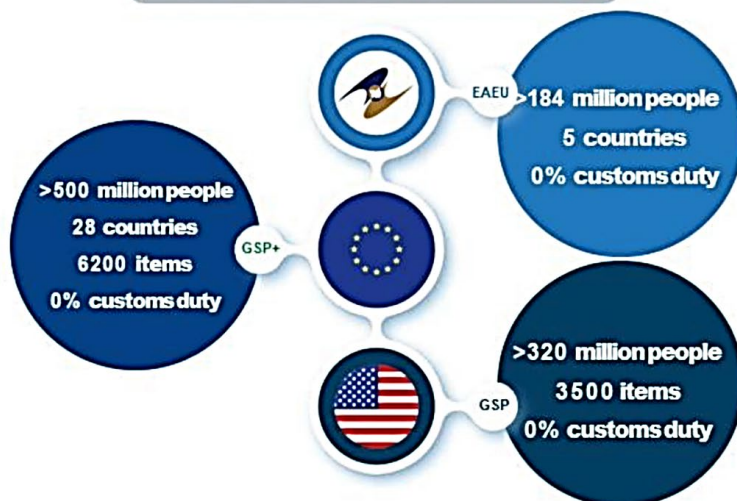


WHY THE KYRGYZ REPUBLIC?



PREFERENTIAL TRADE REGIMES

**CUSTOMS FREE ACCESS TO MARKETS
WITH POPULATION OVER 1 BILLION PEOPLE**





PARTICIPANTS OF
THE IES «TUNDUK»



DATA
EXCHANGE LAUNCHED



COUNT OF
SERVICES



NUMBER OF
TRANSACTIONS G2G



NUMBER OF
TRANSACTIONS G2B

INTERNATIONAL RANKINGS

**80TH
RANK**

 **DOING
BUSINESS 2019**

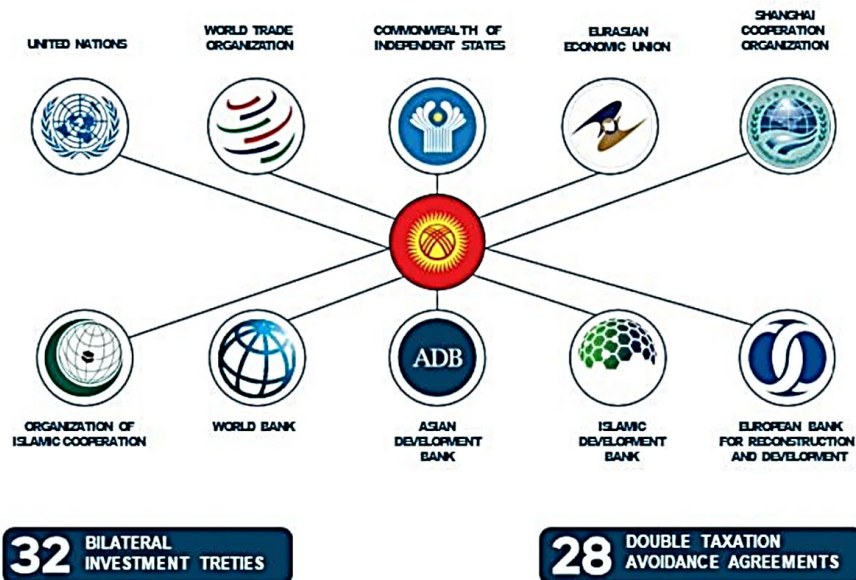
**79TH
RANK**

2019 INDEX OF
**ECONOMIC
FREEDOM**

**B2
STABLE**

MOODY'S

INTERNATIONAL COOPERATION



THE AGENCY - "ONE STOP SHOP" FOR INVESTORS



(2)キルギス共和国農業・食品産業・土地改良省
報告者:リラ・カスィムベコヴァ 国際協力局 局長
報告タイトル:「キルギス共和国の農業分野における投資協力のポテンシャル」

キルギスは地経学上の戦略的要衝に位置しているほか、世界貿易機関、ユーラシア経済連合、そして独立国家共同体（CIS）など経済・貿易分野における多国間枠組みに積極的に参画する国である。また「陸のシルクロード」へのアクセスも有しており、我が国の農産物の販路を世界各地へ拡大できる可能性がある。

キルギスの農業について説明したい。我が国農業セクターの年間成長率は約2%～3%である。2020年は、政府の取り組みや対外貿易活動が功を奏し、農業はプラス成長を記録した産業セクターの一つとなった。年により変動があるものの、GDPに占める農業の割合は概ね15%未満である。キルギスの農業は、40万以上の小規模営農者から成り立っており、うち約10%が協同組合を形成している。国内の農耕地は約1,100万haであり、その大部分が牧草地である。人口の65%が農村地帯に集中しており、うち農業セクターの労働力人口は14%である。

現在、有機農産物の生産拡大が政策レベルで取り組まれており、国家戦略にも優先分野の一つとして謳われている。我々もこの方向性を踏襲し、有機農業の振興を我が省の優先的ミッションのひとつに据えている。現在、開発パートナーとともに有機農業発展に向けた体制基盤の構築・改善を行っているところだ。有機農業発展のための法的基盤もこのほど整備された。

また世界経済のトレンドに合わせ、集約型農業にも注意を払っている。コロナ禍はデジタル化の重要性を世界に知らしめた出来事であったが、これは農業とて例外ではない。農業セクターにおける「デジタルトランスフォーメーション」も優先事項で、現在開発パートナーと共にデジタル農業の戦略文書を策定している最中だ。同文書内に明記されている施策として、例えば農業分野における国家サービスのデジタル化、農園経営のデジタル化などを通じ、国内の農業事業体を世界貿易のシステムへ統合する、などが挙げられる。すでに具体的なプロジェクトも用意されており、近い将来、農業のデジタル化に関するヴィジョンを皆様へご報告できると思う。

我が省の優先事項のなかで同じく重要な課題は、「統合（consolidation）」である。残念ながら、キルギス農業の市場向け商品の生産能力は低い。一営農者あたりの耕地面積が2ha～2.5haの日本と同様、キルギスの農業従事者は小さいわずかな土地で営農している。世界市場への商品供給・輸出を考えた際、育種業や畜産業を含めた農家の統合、また生産能力の統合といった問題が持ち上がるのは当然のことである。同時に、育種や畜産における管理システムの改善についても課題のひとつだ。むろん、高付加価値の農産物加工生産を含む食品加工産業の発展も優先的ミッションの一つである。

スライド4には、農業セクターの輸出ポテンシャル、つまり、我が国の農民やその他農業主体が生産している産品が提示されている。豆類、乳製品、オーガニックコットン、ハチミツ、果物、食肉、ジャガイモ、ナッツである。

農産物の加工、製造、輸出に直接的に携わる主体の数については、スライド7・8をご覧ください。国産飲料全般、小麦粉、小麦粉製品、砂糖についても、輸出検討対象となっている。

国内には農産品生産に特化した地域と畜産に特化した地域がそれぞれあり、地域ごとに独自の特産品が存在する。各地域における特定の産品は、学術研究データに基づいて選定・生産されている。

キルギスには10の物流センターがあり、各国への輸出は、いずれかのセンターを経由して行われている。ここでキルギスと日本の貿易に触れておきたい。ご存じの通り、農産品の二国間貿易高は増加基調にある。コロナ禍にあった昨年ですら、輸出量は減少せずむしろ拡大した。農産品の日本向け輸出品目は、ハチミツ、畜産品、野菜、ナッツ、種子、ウール、輸入品目はチョコレート製品、コーヒーなどが挙げられる。

我が国の優遇税制は外国投資家にとって好適な内容となっている。そして中でも農業は魅力的な投資分野だ。先般の政府決定により、農業振興支援策として、付加価値税が免除される企業やその他特惠措置の一覧が公表された。また、自由経済特区を利用した官民パートナーシップ・プロジェクトの推進という魅力的な可能性もある。



Strategic location

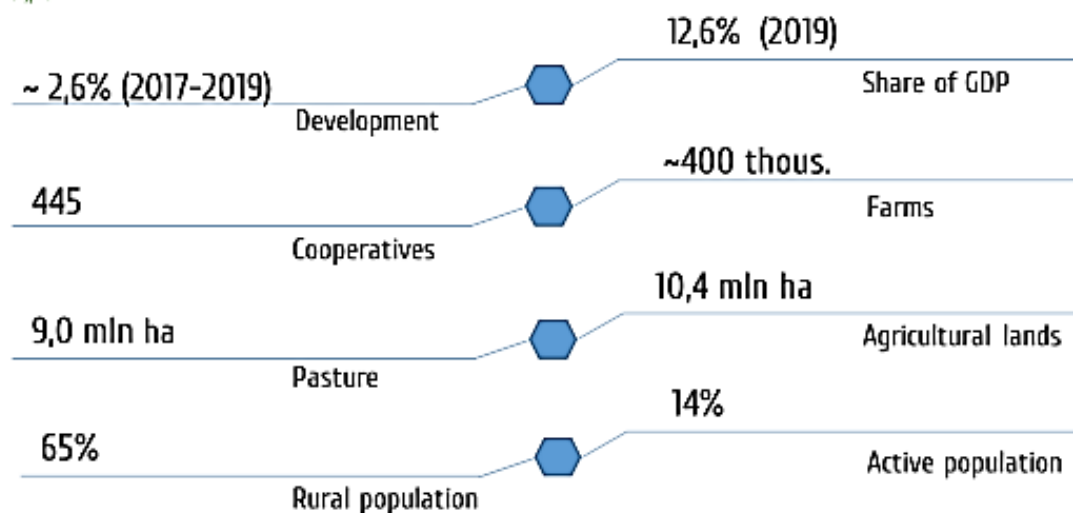


- Active member of the Integrational Unions (WTO, EAEU, CIS etc.).
- On the way of “Silk Road”: access to EAEU, Europe, China, Middle East and South-East Asia.

2



Agriculture of Kyrgyzstan



3



Priorities



Organic production



Intensive gardening



Digitalization



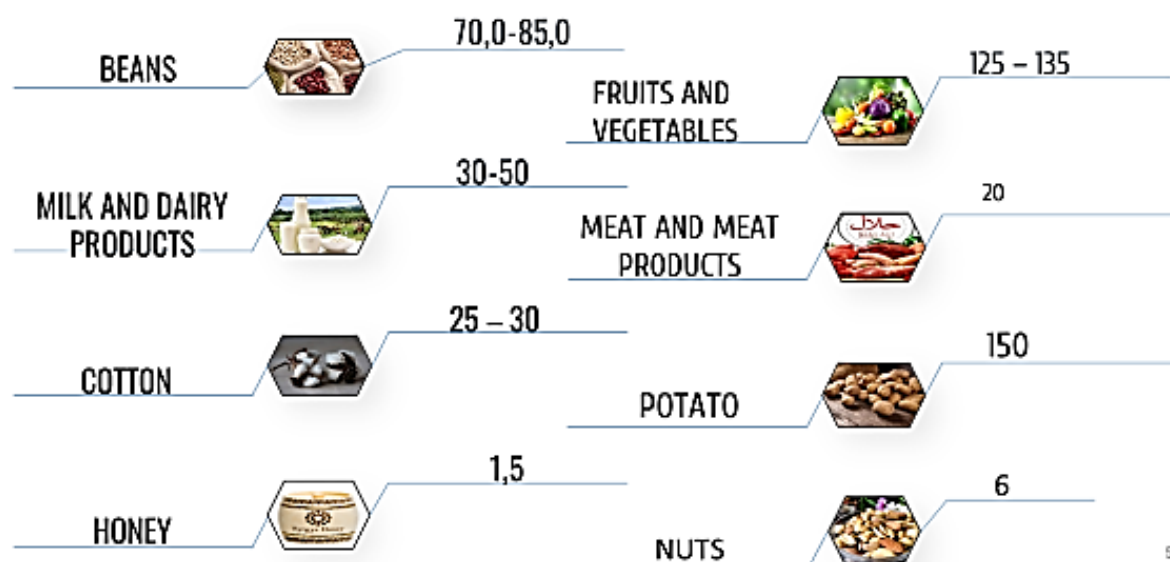
Consolidation (inc. breeding, seed farms)



Processing

4

Export Capacity (thous. tons)



5



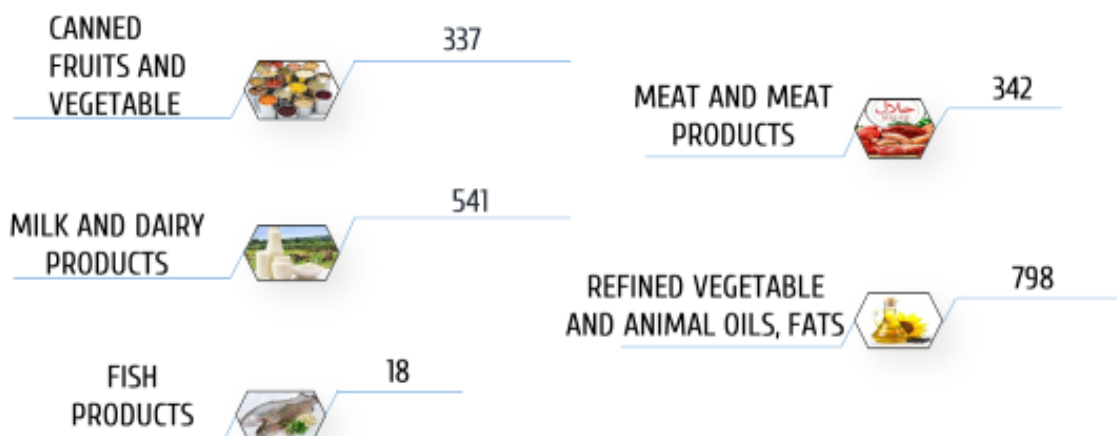
The most attractive products for export

Products	Export, tons		Export Capacity (thous. tons)	Region of cultivation
	2018	2019		
POTATO	5 979,5	22 097,6	100,0-150,0	Chui ,Naryn, Osh , Issyk-Kul
ONIONS	7 188,5	20 126,3	50,0-60,0	Chui, Osh, Jalal-Abad
BEANS	74 277,5	83 199,3	70,0-85,0	Talas
APPLES	6 291,5	13 480,0	13,0-20,0	Chui, Osh, Jalal-Abad, Issyk-Kul, Batken
MEAT AND MEAT PRODUCTS	1 575,8	1 766,7	20,0	Chui ,Naryn, Osh , Issyk-Kul
MILK AND DAIRY PRODUCTS	25 522,0	27 510,9	30,0-50,0	Talas Issyk-Kul Chui
HONEY	359,3	493,2	1,0-1,5	Jalal-Abad Issyk-Kul Naryn, Osh
COTTON	23 164	24 157,6	30,0	

6



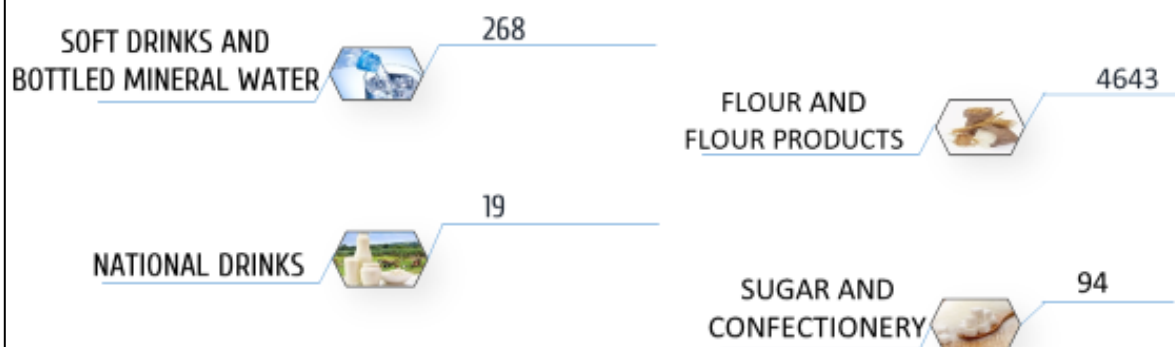
Food Industry (entities)



7



Food Industry (entities)



8

Specialization of regions of the Kyrgyz Republic in crop and livestock production



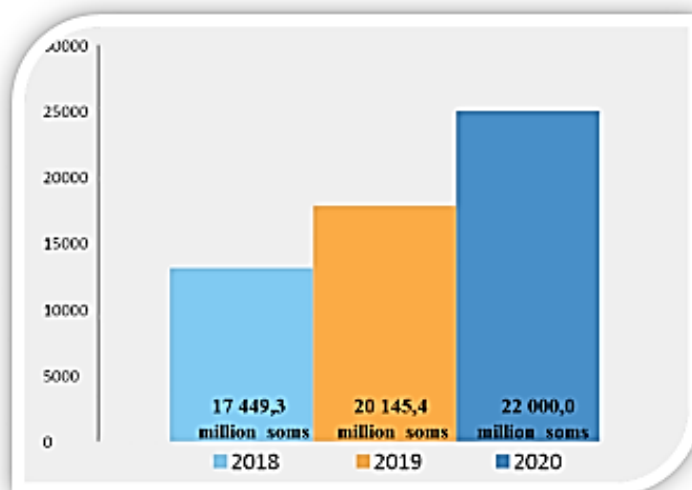
9

Operating trade and logistics centers in the Kyrgyz Republic



10

Export of Agricultural products



- In 2019 export \$288 697.0 thous, that's or 21,5% (\$) higher than in 2018.

11

Trade of Kyrgyzstan-Japan

YEAR	IMPORT (thous.)	EXPORT (thous.)
2018	\$15,3	\$149,3
2019	\$ 33,1 ↑	\$ 197,9 ↑

Products	Import	Export
	ALCOHOLIC, TOBACCO, FISH PRODUCTS	NATURAL HONEY, VEGETABLES AND ROOT VEGETABLES, MEAT AND MEAT PRODUCTS

12



Investment attractiveness

Law of the Kyrgyz Republic «On free economic zones in the Kyrgyz Republic» January 11, 2014 No. 6



Free economic zones (FEZ):

- Special exchange rate regime;
- Tax and social security benefits;
- No customs duties;
- Investor protection.

Law of the Kyrgyz Republic on public-private partnership July 22, 2019 No. 95



Public-private partnerships (PPPs):

- Government guarantees
- State support
- State partner
- Long-term (up to 50 years)

14

Proposals for the cooperation



1. Joint venture on milk and dairy products, beans, meat and meat products



2. Joint events on increasing mutual trade (B2B)



3. Exchange of experience and knowledge (grain crops, livestock, including organic agriculture, etc.)



4. Direct cooperation with state authorized bodies

15

(3)キルギス共和国文化・情報・観光省
報告者:クィヤル・ケンジェマトヴァ 観光局 次席
報告タイトル:「キルギス共和国の観光分野における投資魅力」

キルギスと日本は今日に至るまで、関係者の皆様と非常に実り多い協力関係を築いているし、願わくは今後もこの関係を続けていきたい。キルギスを訪れる外国人観光客の内訳を見ると、主として韓国、中国、欧州諸国が多いが、日本からの旅行客の数も順調に伸びている。

キルギスには非常に大きな観光ポテンシャルがある。特に、山岳ツーリズムやスポーツツーリズム、エクストリームツーリズムなどアクティブツーリズムは有望な観光分野だ。またキルギスは健康増進に資する自然資源を多数擁するため、近年ではメディカルツーリズムがとても盛んである。2020年は残念なことに多くの国民が新型コロナウイルス感染症に罹患したが、このような状況下もありメディカルツーリズムへの注目が一層高まっている。コロナ禍が終息した後、ぜひ日本の皆様に健康増進のためにキルギスにお招きしたいと考えている。

この他、エンタメツアー、エスニックツアー、イベントツアー、ビジネスツーリズム、メディカルツーリズム、ウィンターツーリズムなども組成が可能である。また、村落ツーリズムやジャイロオ・ツーリズム（天幕「ユルタ」での宿泊など遊牧民の生活を体験できるキルギス独自の観光ツアー）などの独自の観光商品も存在する。ジャイロオ・ツーリズムではクムス（馬乳酒）を用いた治療を体験できる。レクリエーションツーリズムとグリーンツーリズムは、キルギスが今後発展を目指す観光形態の一つだ。

キルギスは山岳国であり、日本が「日出ずる国」と呼ばれるがごとく、我が国はしばしば「天空の国」と称される。キルギスには登山マニア垂涎の高峰が数多くあり、アルピニスト向けツアー商品の開発は重要事項のひとつだ。世界的に著名な勝利峰（ポペーダ山）、レーニン峰、ハン・テングリなどが国内に存在する。

これまでアクティブツーリズムやメディカルツーリズムについて説明したが、それら以外のユニークな観光資源も存在する。例えば「真珠の湖」と称されるイシク・クル湖がその筆頭だ。イシク・クル湖は世界最大の湖のひとつで、健康増進に資する多くの利点を有している。またイシク・クル湖の陰に隠れがちだが、サリ・チェレク湖やソン・クル湖といった湖も国内に点在するほか、カラハン朝時代に造られた歴史的な名所も数多く存在する。

むろん、キルギスが外国人観光客にとっても最大限に魅力的な国となるために、観光インフラの改善・充実喫緊の課題だ。その手始めとして、我々は観光客向けの公衆トイレの建設から着手した。と言うのも、残念ながらキルギスにとってこの問題は極めて深刻だ。すでに国内各地で公衆トイレ建設用の区画は決定しており、すぐにでも建設作業を始めたいと考えている。我が国への観光客誘致拡大のため、またキルギスのさらなる魅力向上のために、観光客用公衆

トイレ建設プロジェクトに対し投資家のご支援を賜りたい。その他、山岳スキー場やツーリストサービスセンター、四つ星・五つ星クラスのホテル、エスニック調の宿泊施設などの建設プロジェクトも計画している。

なお、このほど我々は「3D Kyrgyzstan」を開発した。これはインターネット上でキルギスの主要観光地を巡ることができるユニークな機能であり、観光局公式HP (tourism.gov.kg) より利用可能だ。本サービスは今後さらに充実させていく予定なので、ご期待いただきたい。

The potential of the industry

1. Mountain tourism
2. Sports
3. Extreme
4. Wellness
5. Recreational
6. Ethno-tourism
7. Event-based
8. Business
9. Diving
10. Medical tourism

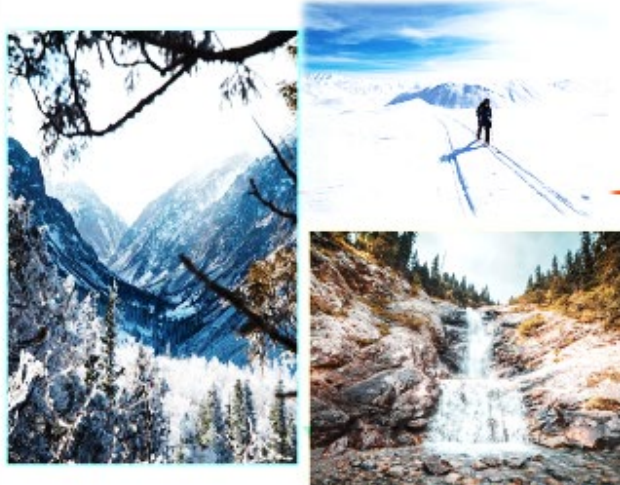


General information about the tourism sector of the Kyrgyz Republic

The Kyrgyz Republic has huge opportunities to attract foreign direct investment in the tourism sector. The advantage of the location includes attractive scenery for tourism. The unique natural conditions of Kyrgyzstan allow us to develop all types of tourism – elite, traditional, health, sports, mountain, ecological, cultural and other types.

Tourists get acquainted with the nature of the highlands, historical complexes and spiritual values of ancient nomadic tribes.

In Kyrgyzstan, there are ideal conditions for tourists: mountain rivers for rafting, seven thousand meters for mountaineers, trails for skiers and snowboarders.



Kyrgyzstan is a country of heavenly mountains, 94 % of the territory of Kyrgyzstan is occupied by mountains, they attract tourists with their snow-capped peaks, high alpine meadows, and clear mountain rivers.

The 88 ridges of the Tien Shan mountain system stretch in long chains from west to east. Other mountain systems, such as the Chon Alai range in the south of the country, belong to the Pamir mountain system. The mountains of Kyrgyzstan divide the country into northern and southern regions, connected by a single road Bishkek-Osh. The average length of the mountain ranges of Kyrgyzstan is 100-300 km. The length of the longest ridge (Kakshaal) is 582 km, the Kyrgyz ridge, which is located south of Bishkek, extends for 454 kilometers. The width of the ridges varies from 10 to 40 kilometers.



Issyk-Kul Lake

Lake Issyk-Kul is the second largest salt lake in the world, located at an altitude of 1609 m., the depth of the lake reaches 668 meters. The area of the lake is 6236 km. The lake is located between the Kungei and Terskey Ala-Too mountain ranges.



Burana

Burana tower (minaret Buraninsky)- archaeological and architectural monument located among the ruins of the Buraninsky settlement, 12 km southwest of the city of Tokmak in Kyrgyzstan, on the left bank of the Chu River. Historians believe that the medieval city of Balasagun was located here - the capital of one of the largest and most powerful feudal Turkic states - the Karakhanid state (940-1212).



Tash-Rabat

The Tash-Rabat caravanserai is a unique architectural monument of the early Middle Ages, the appearance of which more specifically dates back to the 15th century, and one of the main archaeological sites of Kyrgyzstan, which has become a symbol of the mountain architecture of Tenir-Too.



Sary-Chelek

Sary-Chelek Lake is one of the most beautiful places in Kyrgyzstan.

It is located on the territory of the state Biosphere Reserve "Sary-Chelek".

The reserve is known for its unique picturesque and pristine nature, abundance of wild animals and the lake itself. The length of the lake is 7.5 km, the widest part of the lake is 3 km, the maximum depth is 244 m.



Arslanbob

Arslanbob forest is a large walnut forest located in the mountains of the Ferghana and Chatkal ranges at an altitude of 1700 meters. This is the largest walnut forest in the world and one of the most amazing places in Kyrgyzstan.

Arslanbob forest is a natural forest that originated in ancient times. The area of Arslanbob is 700,000 hectares, and on this huge territory there are numerous trees of walnut, pistachio, almond, cherry plum, pear and many others.



The construction of a modern public pay toilets for tourists

It is necessary to build public toilets located in tourist and recreational areas and other public places for the use of tourists on a paid basis.



Construction of ski bases, complexes and resorts

There are 24 ski resorts all over the country, of which 17 operate. On the territory of the republic there are some of the highest mountain peaks: Victory Peak, Lenin Peak, Khan-Tengri peak, the height of which exceeds 7000 meters above sea level. Kyrgyzstan is a great destination for skiing enthusiasts and attracts tourists for the duration of the season (November-March).



Construction of tourist service centers

The construction of the tourist information center will contribute to:

- Favorable roadside infrastructure for local and foreign tourists;
- Providing services necessary for traveling by car;
- Providing tourists with information about the sights, historical values of the region, hotel services, cultural events, exhibitions, expositions, travel routes, entertainment, transport, shopping;
- Involvement of the local population in the activities of the shopping center;
- Creating additional jobs for the local population.



Construction of 4-star and 5-star hotels

In large cities, resort areas, there is a shortage of hotels that meet international standards.

The number of tourists who visited Kyrgyzstan: 2017 – 1.3 million people.

In 2018, 1.4 million people.
2019-1.7 million people.

Due to the growth and development of international and domestic tourism, it is necessary to build high-class and luxury hotels for tourists coming to Kyrgyzstan.



(4)キルギス共和国政府付属国家移民局
報告者:アルマズ・アルィバエフ 同局情報コンサルティングセンター 次席
報告タイトル:「キルギス共和国の人材ポテンシャルとその活用可能性」

キルギス共和国の労働者が日本の労働市場に関心を寄せていることは、就労に関する問い合わせ数が安定的に増加していることから窺い知ることができる。現在、キルギスの人口の約5分の1、約100万人が労働移民としてCIS諸国内外で就労している。見通しでは、むこう数年間就労可能人口の増加率は高い水準が維持されるという。他方、国内の労働市場は新規労働者を吸収しきれない。かかる状況の帰結として、労働移民は生じる。

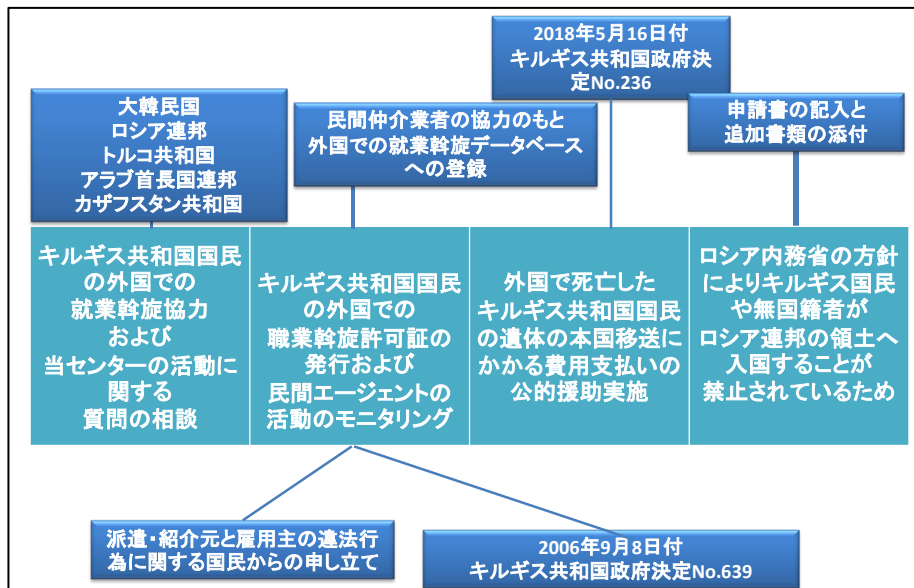
情報コンサルティングセンターはキルギス共和国政府付属国家移民局傘下の機関であり、国外でのキルギス国民の組織的就労を斡旋する。優れた技能を有する労働移民を送り出し、且つ彼らが労働を通じて適切に自己実現できるよう、総合的な取り組みを実施している。

当センターは政府の法的文書に基づき、次に挙げる3つの国家サービスの提供に係る業務を遂行している。一つ目がキルギス共和国国民の国外での就労支援である。就労先はロシア、韓国、アラブ首長国連邦、カタール、オマーン、トルコ、そして日本である。二つ目が民間雇用エージェントに対してキルギス国民を外国で就労させるライセンスの発行とその活動モニタリングである。そして三つ目が、外国で死亡した国民の遺体の本国送還に係る費用の支払いである。

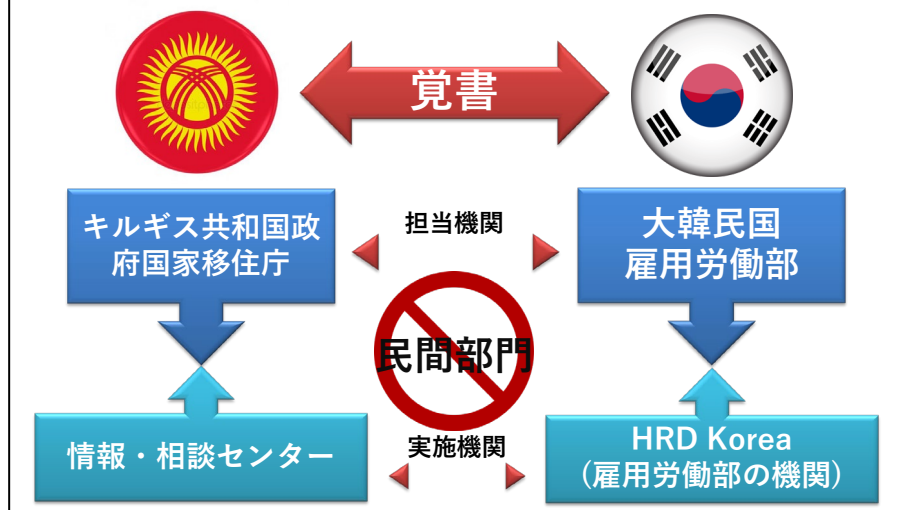
就労斡旋プロセスと同手続きについて、韓国の例を挙げると、キルギス共和国政府令により、国家移民局と大韓民国雇用労働部間で、韓国への労働力派遣に関する相互理解覚書が締結されている。この就労プログラムには民間セクターは関与していないが、日本の場合では、関心を持つ日本の民間仲介業者によるメカニズム策定など、適切な形式を採用することはできる。

キルギス国民の日本での就労手続きについて、以下の段取りを提案したい。第一の段階がキルギス国民の言語能力試験受験。二段階目が、その他技能を把握するための二次試験「能力試験」の受験。同試験は身体能力、論理的思考能力、コミュニケーション能力の3つから構成される。三段階目では、上記試験通過者は、疾患の有無を確認する検査を受けた後、労働市場電子システムへの登録。第四段階は、特定の分野と専門で働くことについて労働者の合意した後の労働契約書署名。第五段階目が出発前研修。同研修では出国と就労国滞在手続き、就労権を得るための書類手続きに関する情報提供と説明、雇用主の要求と条件、労働移民の権利と義務、就労国の文化、習慣、法律が紹介される。その後、航空券購入と就労国に向けた出国となる。

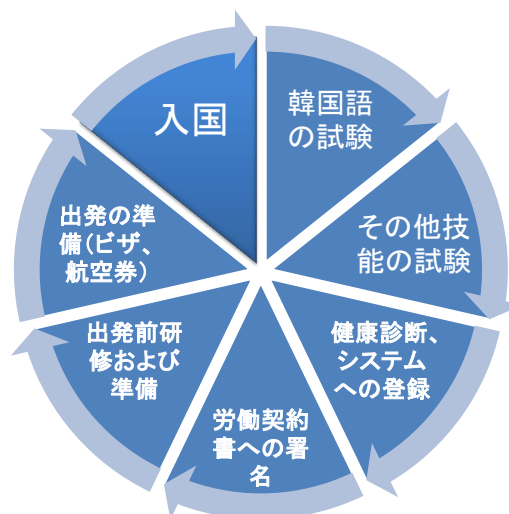
国家移民局は、組織的就労斡旋に関する民間人材会社との協力同意書への法的署名権を有している。トルコの「タイガ」社、アラブ首長国連邦の「アラク・マネジメント」社との合意書がその例である。またロシアにおける就労斡旋では、我々は人材斡旋企業だけでなく、雇用主とも合意書を締結する法的権利を有している。この形式ですでに150の合意書を締結している。



大韓民国での職業斡旋の協力



職業斡旋の手順



(5) 農業事業体「Tomat KG」
報告者:トレウジャン・カリモフ 開発部長
報告タイトル:「Tomat KG社産エコ食品の紹介」

「Tomato KG」社は2015年設立の企業だ。翌2016年には、天山山脈の山麓に所在しクリーンな生態環境が維持されているクラスナヤ・レチカ村にトマトペースト工場を建設した。今日、我々のトマトペースト工場は中央アジア最大規模であり、エコクリーンなトマトペースト「BRIX 36-38」を5,000 t生産している。生産量を8万 tまで拡大するため、今年、温室を建設し、稼働を開始した。

なぜキルギスでトマト栽培をするのか？ ソ連時代からキルギスのトマトは特別な存在なのか？ と疑問に思われるであろう。キルギス産トマトは、我が国の水質故に評価されている。我が国の水はあらゆる有益な成分を含んだ氷河水であり、それに加えて強い太陽の日差しのおかげでトマトが美味しく実り、理想的な商品が出来上がるのである。イタリアとウクライナから招聘した世界的権威の農学者たちは十分な分析の後、キルギスは理想的なトマトの栽培地であると結論づけた。現在我々は600haの自社農場でトマトを栽培しているが、今年、作付面積を増やす予定だ。地元住民や農民の協力も得ている。さらに今年、全農民、営農者がトマト栽培法を学びさらなる発展を遂げていくために、セミナー開催を計画している。

そもそもキルギスには、太陽の輻射熱、氷河水、そして気候条件といった、トマト栽培のための理想的条件が揃っている。我々はこうしたトマト栽培を国内他地域にも広げたいと考えている。現在、当社では500名が働いている。商品の輸出先は、ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、トルクメニスタンであり、ロシアとは供給開始に向け交渉中である。環境に配慮した商品が好まれる日本とも協力関係を築き、輸出したいと考えている。本年、当社の製品が環境に配慮したものであることを証明し日本のJASと世界標準のGlobal GAPの認証を得るために、専門家を招聘することになっている。

当社のトマトペーストの成分は、GOST規格が定めるすべての制限成分基準値の10分の1から20分の1の値を示している。理由は、栽培時に畜糞堆肥や海藻、アミノ酸といった生物肥料を使用しているからである。つまり、トマトペーストが規定基準に合致するよう、我々は特別に策定した栽培プログラムでトマトを栽培している。我が社は世界市場を目指しているほか、エコ商品が好まれる日本と協力する用意がある。我が社のトマトペーストは、トマトのみから作られており、添加物は一切使用していない。

農業事業体“TOMAT KG”は、2015年に設立され、チュイ州ウシク・アチン地区クラスナヤ・レチカ村に所在します。当社は、キルギス共和国最大のトマト加工工場で、一日あたり1000トンのトマトの加工が可能です。



トマトは、600ヘクタールの自社の畑で栽培し、またチュイ州の農家からも仕入れております。トマトの栽培は、“HM CLAUSE”社、“ESASEM SPA”社の種の播種、点滴灌漑技術を用いた水遣りと家畜糞・海藻・植物から作られる有機肥料の施肥、“GUARESI”と“MTS”のコンバインによる収穫といった、最新の技術で行われています。



本年、作物栽培用温室"ATLANTIC EVO"が建設されました。
これにより、作付面積が拡大し、工場の製品生産量は8000ト
ンまで増加します。



トマトの栽培に最適な気候条件と地勢：
年間320日の晴れの日と山の湧き水により、美しく美味しい
実が成ります。



収穫の初めに、全ての畑からサンプルを採取し、殺虫剤が含まれていないかどうか検査を行い、製品の原料となる作物の品質を確実なものにします。トマトペーストの製造工程においても、品質を検査・保証するために、サンプルを採取しています。



完成したトマトペーストは、滅菌バッグに詰め、円錐型ドラム缶に入れた状態で、2年間保存することができます。



お客様向けには、業務用容器（ドラム缶）入りの他、必要なサイズの、小売り用のガラス瓶入りの製品をご提供致します。



当社のトマトペーストは、ウズベキスタン共和国とカザフスタン共和国へ輸出されており、タジキスタン共和国とトルクメニスタンへの納品の契約が結ばれ、またキルギス共和国国内にも市場がございます。



(6) 農業協同組合「Alysh-Dan Organic」
報告者: トウルスナリ・トロムショフ 会長
報告タイトル: 「オーガニックで皆を一つに」

2007年にJICA研修で協同組合について学び、2008年に帰国後「Alysh-Dan Organic」を設立した。我が協同組合の所在地はバトケン州バトケン地区カラ・バク村である。皆様にキルギスの有機栽培アプリコットをご紹介したい。

キルギスはアプリコットの故郷であり、国内の山岳地域では今に至るまで野生のアプリコットが残っている。クルミがキルギスから世界に広がったのと同様、アプリコットもまたキルギスから世界に広がったのである。バトケンには現在に至るまで600年もの間、毎年実をつけている木もある。またこの地域には古くから数多のアプリコット果樹園があるが、中には樹齢300年から400年に及ぶアプリコット畑もある。アプリコットの花は桜によく似ているので、我々はアプリコットを「キルギスの桜」とも呼んでいる。

アプリコットは生の状態かドライアプリコットとして出荷されている。古代より治療目的でアプリコットが使用されてきたが、これには理由がある。アプリコットは、人間の健康のためになくてはならない栄養素を多く含有する。アプリコットの成分は、ビタミンA、ビタミンB、ビタミンC、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸や、カリウム、マグネシウム、鉄分、ヨード、リン、ナトリウムなどのミネラルである。カロリーは44kcalほど。アプリコット摂取によって血流が著しく改善されるため、心臓循環器疾患や神経系疾患の患者にお勧めである。

ぜひキルギスの有機栽培アプリコットを日本へ輸出したい。当協同組合は、日本で開催された国際展示会に2度出展し、我々の生産したアプリコットを紹介した。オーガニック食品を嗜好する日本国民にとって、我々のアプリコットは魅力的な食品であることを信じてやまない。

バトケン州の山岳には、世界でわずか3カ国の山岳地帯にしか植生しない、レッドブックに登録されているアイグル・フリチラリア・エドゥアルドという希少な花がある。この花は4月半ばに開花し、数週間ほどで枯れてしまう。民間伝承によると、アイグルが開花するところを最初に見た者は幸せになれると言われている。この素晴らしい花に関する伝説は枚挙に暇がないが、そのひとつによれば、美しい女性アイグルは、恋い焦がれる男性が敵との闘いから生還しなかったため、哀しみに耐え切れず山から身を投げた。真っ赤な血の跡にこの花が現れ、人々はこの花をアイグルと名付けたそうだ。現在、バトケン州のこの山の花は、永遠の愛のシンボルとなっている。

アプリコットは、バトケン州のブランドであり、バトケン州に収益をもたらす主要農産物である。バトケン州には7,000ha以上のアプリコット果樹園があり、ドライアプリコットの年間生産量は1万tである。当組合が所有するアプリコット農園は約120haである。組合の年間生

産量は、生のアプリコット200 t、ドライアプリコット2,000 t、有機ドライアプリコット300 t、コンポート1,000 tである。

アプリコットのシーズンは7月に始まる。JICAの「一村一品」プロジェクトと緊密に協力しており、昨年は彼らと共同で「干しあんず」を試作した。同商品は今も開発段階にある。

当協会は国際展示会にも出展している。2015年、ドイツで開催された見本市 BIOFACH、2015年の韓国、2016年のインド、2016年の大阪の「アジア・フードショー2016」、そして2020年に東京で ROTOBO の支援の下で「FOOD TABLE in JAPAN 2020」に参加した。また我々の活動や実績が評価され、2017年にキルギス共和国大統領名誉賞を、2016年にキルギス共和国首相より「年間最優秀輸出企業」賞を授与された。



**バトケン州には、7,000ヘクタール以上の
アプリコット農園があります。**

**年間1万トン以上のドライ・アプリコット
が、輸出用に生産されています。**





キルギスタン各地では、「アイグル」（フリチラ
シア・エドゥアルド）の花が咲いています。



農業協同組合 “Alysh-Dan Organic” は、2008年に設立されました。
組合員は1,200名。
アプリコット農園127ヘクタール。
国際有機認証取得済み。





当組合の製品の年間生産量:

生のアプリコット「Ак-Өрүк(ホワイト・アプリコット)」種
200 トン



オーガニック・ドライ・アプリコット
300 トン



ドライ・アプリコット
2,000 トン



コンポート・ミックス
1,000 トン



あんず干し





2015年 ドイツ(BIOFACH展)



2015年 韓国



2016年 インド



2016年 ロシア



2016年 日本(ASIAN FOOD SHOW 2016)
2020年 " (Food table in Japan 2020)



2017年、キルギス共和国大統領より大統領
名誉賞を授与。



2016年、キルギス共和国首相より年間最優
秀輸出企業賞を授与。

(7) 有限責任会社「Ecoproduct Asia」
報告者: アイガヌィシ・ウメタリエヴァ クリエイティブマネージャー
報告タイトル: 「ポストコロナ時代の国民に向けた健康食品としての直搾りジュース」

当社は果汁飲料メーカーであり、当社製品の直搾りジュースは国内では「Organic」というブランド名で知られている。直搾りジュースだけでなく、果汁入り飲料、ネクターも生産している。当社社長で創業者のダスタン・オムラリエフは、2019年にForbes Asiaの「アジアを代表する30歳以下の30人」に選出されている。2013年に、糖尿病患者用に開発されたドイツ製直搾りジュースに出会った彼は、キルギスで同様の製品を創る好機と捉え、生産を決意した。なぜならキルギスの果物や野菜は品質が良く、また生産に携わる農民が多く存在するからである。2019年には新工場が稼働を開始した。新工場にはテトラパック・ラインを設置し、3ℓパックに加え新しいパッケージが生産できるようになった。現在、1ℓ瓶と250ml瓶、65mlのテトラパック入りの製品を提供している。また新しいブランド「Toi daamy」、「Joy」、「Mini Joy」の販売も開始した。

さて「Organic」に関して説明すると、この直搾りジュースには防腐剤、着色料、水、遺伝子組換え作物が使用されておらず、果肉、野菜、ベリー類100%で作られている。豊富なビタミンとミネラルが含有されており、全国民、特に病後、抗生物質治療を受けた患者の健康食品として有効であると考えている。Organicが何より重視するのは、健康である。あらゆる基準において優先されるのが「身体に良いか否か」という指標だ。

「Organic」はいかにしてポストコロナ時代の国民を助けることができるか？ 直搾りジュースには人間に必要な栄養が含まれており、体内のマイクロバイオータに直接影響を及ぼす。つまり、免疫が発生する腸粘膜の維持に役立つのだ。スライド3枚目でここ数年の研究が引用されているが、これらの研究ではマイクロバイオータこそが免疫であると主張されている。つまり、栄養のある食べ物を食べ、ビタミンを摂取し、身体を鍛えるという当たり前のことが非常に重要なのである。心理状態を健康に保つことについても忘れてはならない。しかし、すべての根底にあるのはマイクロバイオータである。

ここで2種類のビタミンと2種類の微量元素について、つまり、Organic成分中のB5とビタミンB1について説明したい。この2種類のビタミンが腸粘膜に及ぼす影響は複雑である。しかし簡単な言葉で説明してみよう。ビタミンB5は脂肪酸の新陳代謝に必須であり、体内のたんぱく質を良好な状態に保つ。ビタミンB1は、食欲を調整し、その成分に亜鉛と鉄分を含んでいる。体内の亜鉛が不足すると、消化不良が起こり、下痢になり、食物から摂取されたすべての有益な微量元素が完全に洗い流されてしまう。鉄分は腸粘膜だけでなく、全身の酸素消費に影響する。このように、これら4物質は全身に非常に肯定的な影響を及ぼすのである。

各国の食習慣と新型コロナウイルス患者数の相関関係を見ていきたい。例えば、米国と英国では、人口比対の新型コロナウイルス感染症罹患率はとても高い。これはもちろん仮説であるが、日本やギリシャのように食に対して注意を払う国では、人々はナチュラルで健康によい食品に重きを置いており、そして感染者の割合もかなり低い事実は注目に値する。むしろ、食習慣と感染率の相関関係はあくまで仮説にすぎないが、我々は自分自身が健康でいることに責任を持つべきことに変わりはない。そして重要なのは、健康であるための「正しい選択」をすることである。

当社について



私たちは、2013年に設立された、直搾りジュース、ネクター、果汁入り飲料のメーカーです。創業者ダスタン・オムラリエフ（“Forbes Asia 2020”の“30 Under 30”に入選）は、キルギスでは農家の人たちが、ジュースにできる美味しい自然派の果物を作っているのだということを強調した。



OrganicTM について

100%直搾りジュースは、砂糖・着色料・保存料・GMO不使用です。原料の果物は体に良いビタミン・ミネラル類（ビタミンA、B、B1、B2、B3、B5、B6、B9、C、P、E、K、H、PP）や、微量元素（鉄分、カリウム、マグネシウム、ヨード、リン、マンガン、銅、ナトリウム、亜鉛、カルシウム、ビオチン、クロム、ニッケル、ペクチン）が豊富で、葉酸、βカロテン、貴重なセルロースを含み、直搾りジュースのベースとなります。





マイクロバイオームの研究

<https://www.nature.com/articles/s41575-020-00397-y>

<https://www.nature.com/articles/s41522-020-00181-5>

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S245223172030004X>

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2452231720300026>

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4040776/>

Organicの特徴と その作用

ビタミンB5

脂肪酸の新陳代謝とコレステロールの合成に必要なコエンザイムAの成分であり、その他にもタンパク質のアセチル化をする働きがあります。
ビタミンB5は、粘膜の状態を整える働きもあります。

ビタミンB1

ビタミンB1（チアミンピロリン酸）は、トランスケトラーゼの補酵素として作用し、脱炭酸、エネルギーの産生、末梢神経線維の神経インパルスの伝達のプロセスにおいて、必要とされます。ビタミンB1は、食欲を調節する大切な働きもあります。



Organicの特徴と その作用

亜鉛

亜鉛は、多くのメタロプロテインナーゼの成分で、タンパク質、DNA、RNAの生成や安定化のプロセスに関わっています。腸管上皮細胞など、生まれ変わるスピードが速い組織の修復に必要不可欠です。軽度あるいは中程度の亜鉛不足は、嗅覚障害（嗅覚低下）を引き起こすことがあります。腸性肢端皮膚炎症候群という希少疾患では、重度の亜鉛不足が見られますが、これによりひどい下痢を引き起こします。

鉄分

鉄分の主な働きは、酸素を末端組織に運ぶことです。鉄欠乏性貧血は、消化器系を含め全身の状態に悪影響を及ぼします。重度の鉄欠乏性貧血になると、口腔内、咽頭、食道の粘膜が萎縮することがあります（プランマービンソン症候群）。



疾患患者の数と食習慣の 相関関係



イギリス
アメリカ

370万人
2,650万人

人口の5.5%
人口の8.1%



日本
ギリシャ

37万9,500人
15万5,000人

人口の0.3%
人口の1.4%



(8)「CHAPANSAR」縫製スタジオ
報告者:サイカル・バカソヴァ マネージャー
報告タイトル:「自然と調和するCHAPANSAR」

「CHAPANSAR」は、デザイナーのジュマグリ・サリエヴァ氏がキルギスに2011年に設立したスタジオで、上質な天然素材を使ったエスニック調のオリジナルファッションのデザインを手がけている。どの洋服もステッチを多用しており、また自然をモチーフとしたキルギス独自の文様刺繍は、洋服に独特の質感を醸し出している。グローバリゼーションのもと急速に世界が変化していく中、人々は自然と調和した暮らしを求めている。かつて遊牧生活をしていた頃、キルギス民族は自然と密接に係わりながら生活していた。遊牧民の生活は、その住居から衣服に至るまで、天候変化や場所の移動に適応するためのものであった。我々はキルギス民族の遺産であるステッチを多用した上着をモチーフにした商品を生産しているが、この上着のエレガントさ、多彩さは、何世紀にもわたる遊牧生活様式によって培われたものである。

私たちは多くの国際的な賞やグランプリを受賞している。モスクワの「婦人服プレタポルテ賞」にノミネートされ、ミラノを含む「ファッションウィーク」でも最優秀賞に選ばれた。これら以外にも、米国、イタリア、フランス、ロシア、CIS諸国、日本での様々な興味深いプロジェクト、フェスティバル、展示会、ファッションショーに参加し、作品を発表している。またユネスコの3つの品質認証を取得している。

「チャパン」(男性用コート)のユニークさの最たるものは、実用性と、軽やかさ、保温性の絶妙なバランスである。年間を通じて着用でき、どんな洋服やアクセサリとも相性が良い。当スタジオでは、良質な天然素材だけを使用しているが、チャパンのキルトの内側には、オーガニックコットンを使っている。この綿は保温効果があり、アレルゲン物質を含んでいない。当スタジオは、「自覚的であること、そして環境への配慮」という原則に立っており、洋服製作で残った布を廃棄することなく家庭用小物を作っている。

「CHAPANSAR」スタジオに関心のある方々へビジネスオファーをしたい。我々は海外、特に日本市場での商品販売に協力する用意がある。商品ラインナップは、チャパン、ケムセル(袖なしジャケット)、ジャケット、男性用・女性用・子供用ベルデムチ(スカート)、幼児向けのブランケット、ノースリーブジャケット、帽子などだ。「CHAPANSAR」は、現代的な洋服を好み、良質の流行の洋服を好むあらゆる年齢の人々、また質のよい洋服を買うマインドがあり洋服に最大限の品質と着心地の良さを求めつつも、適正で手頃な値段を好む人々をターゲットにしている。我がスタジオのコレクションには、アウトドアレクリエーションや冠婚葬祭、ビジネスミーティング、旅行、ヨガレッスン、普段着にぴったりのクリエイティブなデザイナーズチャパンが取り揃えられている。我がスタジオの成功要因としては、ファッションデザイナー

のジュガグリ・サリエワ氏によるオリジナルデザインと、高い品質、高い縫製技術とパターン、品質に比べて手頃な価格、キルト製品需要拡大などがある。おおよその価格帯は20ドルから260ドル、生産能力は月間50着以上であるが、大量発注の場合、生産能力拡大も可能だ。





Estimated prices for products

	Commodity group	Price range, USD
1	Chapan for children (1-14 years old)	20-90
2	Men's short chapan (kemsel)	150-220
3	Men's long chapan	200-260
4	Women's short chapan (kemsel)	120-220
5	Women's long chapan	200-260
6	Vest for men, women	50-120
7	Beldemchi (skirt)	50-85

Production capacity from 50 pieces of finished products per month and are ready to increase when ordering.

(9)有限責任会社「Aroniya Farm」
報告者:ダリカ・ババエヴァ マーケティング部 部長
報告タイトル:「健康のための工場」

「Aroniya Farm」は2016年に設立されたキルギスの製薬会社であり、サプリメントを含む30種以上の製品を製造している。Aroniya Farmの全製品は認証を受けており、GMP（Good Manufacturing Practice：医薬品の製造管理および品質管理の基準）により高い品質が評価されている。顧客が購入しやすいよう、効果的で品質に優れた製品を廉価で提供している。社長はアッザム・ババエフ氏であり、キルギス初の製薬会社「ビオヴィト」社の創業者でもある。当社製品は、キルギス国内のみならず、欧州をはじめ、CIS諸国内外の市場にも流通している。

当社医薬品「ババエフ」について説明したい。この薬は2020年に当社社長が開発したものである。臨床試験では、動物の肺が70%浄化されるという高い効果が得られた。コロナ禍に需要が急激に拡大したことも、この薬品の有効性を証明している。この薬の一体何がそうした効果をもたらしているのかと疑問に思われるであろう。その答えは、エコクリーンな原料であるカンゾウの根、オオバコの葉、カノコソウの根、タイム、オトギリソウ、オレガノ、ユーカリチンキの7種の薬草を使用していることだ。つまり「ババエフ」の成分は、生物学的に有効な物質と多量のビタミンを含有しており、去痰作用がある。「日本たばこ産業」の喫煙年次研究によれば、2017年の喫煙者の男女比は、男性28.2%、女性9.0%であった。我が国国内産のエコな製品は、この統計の数字を引き下げ、より健康な社会をつくるお手伝いができる。

同様にキルギスで生産されている製品「ムミエ」について説明したい。この製品は、回復作用、抗炎症作用、鎮痛作用など多くの効能を有している。サプリメントでもあり、我々は「ムミエ」をブラックチョコレート「キルギスタン・ヴェルシナ・フクーサ（キルギス一味の最高峰）」に添加して服用している。

最後に、当社は日本のパートナーと、製品輸出と商品の共同生産という長期的協力関係を構築したいと望んでいる。軟膏製造工場建設、医療用手袋製造工場建設といったプロジェクトも計画している。

Aroniya Farm

当社について

当社は、サプリメントを含め、30以上の医薬品を製造しております。Aroniya Farm社の製品は全てGMP認証を受けており、高い品質が保証・評価されています。私たちは、高い効果、品質、そして低価格な製品を提供し、お客様の賢い選択をお手伝い致します。



ババエフの咳止め

「ババエフの咳止め」の成分には、様々なビタミン類や微量元素などの生物活性物質が含まれており、**去痰**、**殺菌**、**抗炎症**、**抗けいれん**、**鎮静**などの効果があります。



甘草根
オオバコの葉
ワレリアナ根
タイム
オトギリソウ
オレガノ
ユーカリチンキ



ババエフの咳止め

ムミエ(シラジツ)

- ・疲労回復
- ・抗炎症
- ・鎮痛
- ・アンチエイジング
- ・健康増進
- ・癒傷
- ・抗細菌
- ・抗アレルギー



ムミエ 5グラム



ムミエ入りチョコレート



ムミエ No.30



ウェビナーの様子

(10)国際連合工業開発機関(UNIDO)東京事務所コメント コメンテーター:壽 郁恵 工業開発官

投資誘致の観点からコメントしたい。最初に、キルギス向けのUNIDOの活動について簡単に紹介する。UNIDOはウィーンに本部を置く国連の専門機関で、現在はエネルギー・インフラ、農産品加工のバリューチェーン、建設資材、繊維・アパレル、および観光といった分野でドナー間の調整を図りながら、キルギス政府と共にパートナーシップと呼ばれるプログラムを進めている。

私が所属するUNIDO東京事務所では日本から途上国・新興国への投資と技術移転の促進に特化した活動を行っている。2018年にはキルギス投資促進・保護庁の長官を日本に招聘し、在日キルギス大使館の協力のもと、投資セミナーの開催や個別の企業訪問などを行い、キルギスへの投資を呼びかけた。今後もUNIDO本部と連携を取りながら、キルギスへの投資促進を目的とした招聘事業やセミナー開催等の実施について検討したい。

キルギスのビジネス環境は、世界190か国・地域を対象とした、世界銀行の事業環境ランキングにおいて、不動産登記（7）、信用供与（15）、法人設立（42）といった分野では非常に高い評価を得ている。ビジネス環境を整備するために様々な取組みが行われ、キルギスは2019年には世界で最も改善が見られた上位20か国にもランクインをした。ただ残念なことに2020年には総合ランキングでの順位を下げている。近隣国では、カザフスタンが2017年の41位から2020年に25位、ウズベキスタンが87位から69位と、いずれも順位を上げている。投資環境の改善には継続的な努力が必要なことは言うまでもないが、ビジネス環境を見る上で良く使われるこの指標において、今後キルギスの評価が向上することを期待する。

さて、キルギスにおける有望な投資分野としては、ハチミツやドライフルーツを始めとする農産品および農産品加工分野が以前から注目されている。輸送コストや供給量といったことも考慮し、希少性のあるもの、オーガニックなものに特化することで可能性が高まるのではないかと。

また、農業の近代化・生産性向上といった観点から農業機械、さらに、建設や再生可能エネルギーといった分野も有望性があるが、今回は特にICT分野に注目してみたい。ITサービス・製品輸出を目的とするキルギスのハイテクノロジーパークでは、様々な税制上の優遇策が設けられている。米国商務省のレポートによると、2019年時点で80企業が活動し、総収益1,400万ドルであったものが、2024年には総収益2億ドル、IT関連雇用1万人が見込まれるとのことで、大変成長が期待できる分野ではないかと思う。

3月15日～19日にかけて、「CONNECT.KG」というITのオンライン展示会の開催が予定され

ている。IT業界での人材不足の深刻化が予想される中、日本企業の皆様には是非こういったイベントにも積極的に参加して、可能性を探ってみたい。

最後に投資のプロモーションについて。投資誘致というのは非常に時間がかかる地道な作業だ。最終的な投資の判断を行うまでに幾つものプロセスがあり、特に慎重な日本企業の場合、実際の投資に至るまで非常に時間がかかる。投資誘致に向けた、セミナーや商談会の開催、あるいは展示会への参加といったプロモーション活動は積極的に、かつ継続して忍耐強く行っていくことが重要だ。今回のCAVEXは、ウェビナー、商談会、展示会を同時に行うという大変素晴らしい機会だと思う。こういったオンラインでのイベントに積極的に参加する、あるいは自ら企画・実施していくことが、ビジネスのチャンスを広げることにつながる。

次にSNSの活用について。一例を紹介すると、駐日ジョージア臨時代理大使が同国の魅力について日々ツイッターで発信され、数多くのフォロワーを集めている。発信する内容は必ずしもビジネス関連でなくても、まずはその国について知ってもらい、興味を持ってもらう方法として、ソーシャルメディアの活用は特に若い世代に向けての大変有効なツールであるとする。

また、地方自治体とのタイアップも非常に有効。一例をあげるなら、神戸市がICT分野でアフリカのルワンダと提携をしている。ルワンダに神戸市からビジネスミッションを派遣する、ルワンダでICT人材の育成支援を行うといった活動が行われており、ミッション参加した企業によるルワンダへの進出事例も生まれていると聞いている。



UNITED NATIONS
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOAL 9
INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE

国連工業開発機関(UNIDO)の対キルギス事業

Программа Организации Объединенных Наций по
промышленному развитию (UNIDO) по отношению к
Кыргызстану

UNIDO本部の取組み

国別パートナーシップ・プログラム
(Programme for Country Partnership)

- エネルギー・インフラの近代化
- 農産品加工のバリューチェーン開発
- 建設資材産業の近代化
- 繊維・アパレル産業のアップグレード
- 持続可能な観光産業開発

Деятельность штаб-квартиры UNIDO

Программа партнерства по странам
(Programme for Country Partnership)

- Модернизация энергетической инфраструктуры
- Разработка цепочек ценности переработки сельхозпродукции
- Модернизация индустрии стройматериалов
- Подъем на новый уровень текстильной промышленности и отрасли производства одежды
- Развитие устойчивой туристической отрасли

INCLUSIVE AND SUSTAINABLE INDUSTRIAL DEVELOPMENT

www.unido.org

2

国連工業開発機関(UNIDO)の対キルギス事業

Программа Организации Объединенных Наций по
промышленному развитию (UNIDO) по отношению к
Кыргызстану

UNIDO東京事務所の取組み

- ・2018年にキルギス共和国投資促進・保護庁長官を招聘し、投資セミナーを開催するとともに、日本企業との個別面談を実施（駐日キルギス大使館との協力）
- ・今後、UNIDO本部とも連携して、投資促進を目的とした招聘事業実施を検討



Деятельность Токийского офиса UNIDO

Помимо проведения в 2018 году инвестиционного семинара с приглашением главы Агентства по продвижению и защите инвестиций в Кыргызской республике, были проведены отдельные встречи с японскими компаниями (при поддержке посольства Кыргызстана в Японии).

- ・Рассматривается дальнейшее осуществление программы визитов в Японию с целью стимулирования инвестиций совместно со штаб-квартирой UNIDO.

有望な投資分野

Перспективные отрасли для инвестирования

- ・農産品加工：ハチミツ、ドライフルーツなど
*希少性のあるもの・オーガニック
- ・農業機械
- ・建設
- ・再生可能エネルギー
- ・IT「バーチャル・シルクロード」
-ハイテクノロジー・パーク：ITサービス・製品の輸出を目的
80企業・総収益1,400万ドル(2019)、前年比65%増加*
2024年には年間総収益2億ドル、IT関連雇用1万人が見込まれる*
-ITオンライン・イベント「CONNECT.KG」（2021年3月15日（KSSDA）日～19日）-キルギス・ソフトウェア＆サービス開発協

*米商務省国際貿易局(ITA)

- ・ペルеработка сельхозпродукции：мед, сухофрукты и т.д.
* редкие виды, органические продукты
- ・Сельхозоборудование
- ・Строительство
- ・Регенеративная энергия
- ・IT「Виртуальный Шелковый путь」
-Высокотехнологичные парки: целью является IT-сервис и экспорт изделий
80 предприятий – 14 миллионов долларов (2019), рост на 65% по сравнению с предыдущим годом*
До 2024 года прогнозируется рост годовой выручки до 200 миллионов долларов и количества рабочих мест в области IT до 10 тысяч человек.*
-Кыргызская Ассоциация разработчиков программного обеспечения и услуг (KSSDA)

*International Trade Administration

継続的、積極的なプロモーションを

Важность активного промоушена

- ・対日プロモーションの拡充
-セミナー・商談会の開催
-展示会への参加
-オンラインイベント実施(どこからでも気軽に参加できる)
- ・SNSの活用 (cf. 駐日ジョージア大使館)
- ・地方自治体とのタイアップ、姉妹都市提携
→ IT分野における神戸市とルワンダの提携例

*キルギスについて知ってもらう機会を増やし、投資先としてのキルギスの知名度を高めることが重要

- ・Расширение промоушена по отношению к Японии
- Проведение семинаров и торговых переговоров
- Участие в выставках
- Проведение онлайн-мероприятий (возможно участие из любой локации)
- ・Использование социальных сетей (пример: посольство Грузии в Японии)
- ・Координирование с органами местной администрации и по линии городов-побратимов
→ Координирование между городом Кобэ и Руандой: область IT

* Важно увеличить количество возможностей узнать о Кыргызстане и поднять его известность в качестве объекта инвестирования.

(11)株沖縄リレーションシップコメント
コメンテーター: 寺岡 慎祐 営業部 係長

当社は外国人材に特化した沖縄県にある人材総合サービス会社であり、主に人材派遣、人材紹介などの人材サービスを提供している。グループ会社として神奈川県・東京都・埼玉県に事業所があり同じように外国人材に特化したサービスを提供している。またキルギスにも事務所があり、キルギス人の社員が働いている。

続いてキルギス人材受入事業の歩みについて。2014年10月にキルギス人材受入事業がスタートした。この頃から沖縄県は外国人観光客が増加しており、インバウンド対策が目下の課題であった。その時に縁があってキルギスの方と関わることもあり、キルギスという素晴らしい国があることを私たちは知った。キルギス人は親日家が多く真面目で勤勉、さらに語学力にだけ英語やロシア語、日本語を話せる方が多くいることに驚いた。そこで私たちは沖縄で働きたいキルギス人とインバウンド人材を探す企業とをマッチングできないかという思いでこの事業をスタートさせた。

事業を始めるにあたり、まずはキルギス共和国の関係各省を訪問した。現地で話を聞くと、日本で就職するためのルートが整備されておらず、せっかく日本語を勉強しても就職に活かすことができない状況であることがわかった。そこで日本で就職する際の問題点を、当社が間に入り調整した。日本で働きたいキルギス人材の募集、採用したい企業の募集、ビザの申請サポート、住居の手配、入国後の生活支援など、まずは受入体制の整備に取り組んだ。

そして受入体制が整い、2015年2月に「キルギス人材マッチングイベント」を沖縄で開催した。これはオンラインツールを使つてのイベントとなっており、キルギス人材を採用したい企業様50社以上に参加いただき、多くのキルギス人材の採用に結びついた。

はじめは通訳者としてワーキングビザを取得した高度な人材から受入をスタートした。2015年には日本語を学びたいキルギスの若者たちをサポートする留学生受入事業を開始。2017年にはキルギスの大学生の、就職支援としてインターンシップ支援事業を開始した。これはキルギスの大学で、日本語を学ぶ学生を、職業体験という形で沖縄のホテルや観光施設で研修してもらう制度である。結果、事業を開始してから今までに、のべ200名以上のキルギス人材を受け入れることができた。

2020年は100名以上の受入を予定していたが、新型コロナ感染拡大の影響で残念ながら延期となった。2021年、2022年については「技能実習」や「就労体験」といった形で、介護・宿泊・農業など人材不足が顕著な業種を中心にキルギス人材の受入を計画している。

最後に、キルギス政府の方に1つリクエストがある。2019年4月に新設された「特定技能」

という在留資格をご存知だろうか？ 詳細は割愛するが簡単に説明すると、今まで外国人の就労が認められていなかった職種でも働くことが可能になった新しい在留資格の名称である。実はキルギスと日本では、この「特定技能」の二国間協定が結ばれていない。さらに多くのキルギスの方が日本で就労できるようにぜひ二国間協定締結のために善処していただければ幸いだ。

2014年 - キルギス人材受入事業始動

2014 год - Начало проекта по приему кадров из Кыргызстана

日本（沖縄）で勤務したい人材と企業をつなぐ『キルギス人材マッチングプロジェクト』発足のためキルギスを訪問し、関係各省を表敬訪問する。

●プロジェクト概要

・人材ニーズ企業の開拓 ・現地人材の募集 ・ビザ申請 ・住まい（寮）の手配 ・入国後の生活支援 ・企業受入体制構築支援 他

Посещение Кыргызстана и нанесение визитов вежливости в государственные органы с целью запуска «Проекта по подбору кадров из Кыргызстана», который позволяет связывать желающих работать в Японии (на Окинаве) и японские компании.

●Общая информация о проекте:

・ Поиск компаний, имеющих потребность в персонале; ・ Набор местного персонала; ・ Получение визы; ・ Предоставление жилья (общежития); ・ Бытовая поддержка после приезда в Японию; ・ Поддержка компаний по созданию структуры приема кадров, и.т.п.



総理府内にて（日本でいう国会議事堂内）
В парламенте Кыргызстана



カニベック国会議長
兼教育文化委員長と会談
Встреча с г-ном Каныбеком Осмоналиевым,
председателем комитета парламента
по образованию, науке, культуре и спорту



キルギス労働青年省
アルマズ アンバエバ副大臣と会談
Встреча с г-ном Алмазбеком Асанбаевым,
заместителем министра труда,
миграции и молодежи



現地政府公式ホームページにも掲載
Новость о событии на
странице Правительства

2015年 - キルギス人材マッチングイベント開催

2015 год - Проведение мероприятия по поиску кадров из Кыргызстана

日本で就業したい人材のオンラインPRイベントを開催。日本で働きたい中央アジア人材が受入企業に語学力や就業意欲などをアピールしました。

Проведение рекламного мероприятия в режиме онлайн для желающих устроиться на работу в Японию.

Кандидаты из стран Центральной Азии смогли продемонстрировать потенциальным работодателям знание языка и желание устроиться на работу.

24社が参加。報道各社も取り上げ非常に関心の高いイベントとなり多くの人材の内に定に繋がりました。

Приняло участие 24 компании. Мероприятие было освещено в СМИ и привлекло большое внимание. Многие кандидаты смогли получить предварительное подтверждение о приеме на работу.

また要望を受け同年に2回目も開催2回目には27社に参加いただき、さらに在日大使館 担当書記官のチムール氏も来沖。

По многочисленным просьбам в этом же году было проведено второе мероприятие. В нем участвовало 27 компаний, и Окинаву посетил секретарь посольства Кыргызстана в Японии по данному вопросу.

中央アジア現地での注目の高さもうかがえました。

Все это послужило свидетельством высокого интереса к подобной деятельности со стороны партнеров в Центральной Азии.



担当書記官チムール氏
Тимур-сан, секретарь
посольства КР в Японии

キルギス人材受入年表

История приему кадров из Кыргызстана

年/Год	項目/Категория	人数/Кол-во
2014	キルギス人材受入事業始動 / Начало проекта по приему кадров из Кыргызстана	
2015	高度人材 / Высококвалифицированный специалист	8 名/чел.
	留学生 / Студент	22 名/чел.
2016	高度人材 / Высококвалифицированный специалист	22 名/чел.
	留学生 / Студент	25 名/чел.
2017	高度人材 / Высококвалифицированный специалист	22 名/чел.
	留学生 / Студент	4 名/чел.
	インターンシップ / Стажер	8 名/чел.
2018	高度人材 / Высококвалифицированный специалист	21 名/чел.
	インターンシップ / Стажер	40 名/чел.
2019	高度人材 / Высококвалифицированный специалист	10 名/чел.
	インターンシップ / Стажер	14 名/чел.
2020	高度人材(入国延期) / Высококвалифицированный специалист (ждут въезда)	12 名/чел.
	インターンシップ(入国延期) / Стажеры (ждут въезда)	92 名/чел.



キルギス人材受入事業

**2015年6月 6名の
受入からスタート!**

Проект по привлечению кадров из Кыргызстана

**Июль 2015 г.
Первые 6 человек!**

リレーションシップ所属 キルギス人材数 (ビザ別) / Количество кадров из Кыргызстана в
компании «Okinawa Relationship» (по разным визовым категориям)

